

【1 分解説】サーキュラーエコノミー(循環経済、CE)とは？

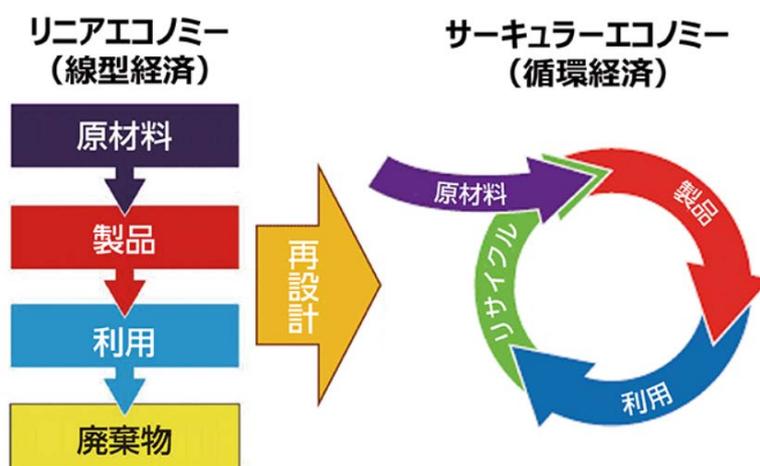
総合調査部 副主任研究員 牧之内 芽衣

サーキュラーエコノミー（循環経済、CE：Circular Economy）とは、資源を効率的に利用し、廃棄物を最小限に抑える経済システムです。従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニアエコノミー（線形経済）とは異なります。例えば、使用済みプラスチックを石油化学原料に転換する取り組みや、レンタル・シェアリングサービスなども該当します。

サーキュラーエコノミーを実現させるためには、3R（リデュース、リユース、リサイクル）といった従来の延長線上の取り組みを強化するだけでなく、経済社会システムそのものを循環型に変えていくことが必要です。廃棄物を最小にすべく、製品の設計段階から再利用や再資源化を考慮し、資源を循環させることで環境負荷を軽減しつつ、経済的価値を生み出す仕組みづくりが必要とされています。

経済産業省などの調査によると、サーキュラーエコノミーは新たな市場機会を創出する効果があり、2030年には世界全体で4.5兆ドル、日本国内では80兆円の規模に成長すると予測されています。世界的にサプライチェーンの強靱化が重要な昨今、CO2排出量削減にも大きな効果があるとして期待されています。

資料 リニアエコノミーと、廃棄物を出さないサーキュラーエコノミーの違い



(出所)環境省「令和3年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」

関連レポート

・「サーキュラー・エコノミーの現状と事例」(2021年8月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/160083.html>